進路通信 No.10

第１部

平成30年２月
○ 赤穂高校 ○
進路指導部

☆新たな課題に挑戦！☆

◆学年末に向けて気持ちを引き締めよう◆

２月は１年の中でも一番寒い季節です。一方で大学の一般入試が多く行われます。受験生にとっては正念場で緊張しているでしょうが、精一杯実力を発揮してもらいたいものです。学校は３年生が自由登校になったので少し静かに感じます。

今月はマラソン大会や特色選抜入試、卒業式など行事が数多くあります。落ち着いて家庭学習に取り組むことができているでしょうか。朝、布団から出たくない、少しくらいさぼっても、という怠け心、失敗をしたときにすぐ言い訳をする癖、だらだらとゲームばかりする癖。私たちの心の奥には、たくさんの悪習、悪癖が潜んでいます。２月３日は節分です。この機会に、心の中にいる鬼退治をしましょう。

高校入試などにより３月の授業は少なくなるので、特に今月の授業は集中して受けましょう。

あと少しで今年度は終わってしまいます。この１年間でどれだけ成長できたでしょうか。次年度は、目標を高く掲げて、さらに自分自身を向上させましょう。

これが大学入試センター試験だ！

３年生の先輩はちょうど受験の真只中。ちょうど１年前にあたる２年生も、そろそろ「受験生」としての自覚を持とう。

位置づけ

国公立大一般入試（一部を除く）では、各大学・学部が実施する個別学力検査の前に、１次試験として必ず受けなければならない。また、近年では私立大でもセンター試験利用入試を課す場合が増えてきており、その数は全私立大の約８割にもなる。そのため、今や進学をめざす受験生にとって、受験するのが当たり前とも言える存在になっている。

出題範囲

センター試験の問題は、高校の全履修範囲のうち、高１・高２で学習した内容が全体の４分の３以上を占めると言われる。また、入試問題とはいえ基礎の定着度を測るテストなので、問題は基礎事項が中心。つまり、高２までの基本的な学習内容がしっかり押さえられていれば十分対応できる。

受験科目数

国立大の大半がセンター試験で５教科７科目以上を課している。国立大進学を視野に入れるなら、７科目受験はほぼ前提と考えて問題ないだろう。このような総合力勝負でポイントになるのは、苦手科目の克服。他と比べて大きく得点が低い科目や苦手意識の強い科目があれば、今のうちに徹底的に対策・補強しておこう。

日程・出題科目

例年、１月13日以降の最初の土日２日間にわたって実施される。現２年生が受験する平成31年度センター試験は、１月19日（土）、20日（日）に実施予定。センター試験では、実施科目の中から志望校の入試に必要な科目を受験する必要があるので、志望校研究を行う際には、入試科目にも注目しておこう。

受験者数

センター試験は約57万人が受験する。進研模試などの模擬試験も、全国の高校生が受けるテスト。その結果から、全国での自分の位置を把握し、具体的な目標や対策を立てよう。

２月の行事

1(木)　清掃担当区域再編成
　　マラソン大会
　　公開授業週間（～2(金)）
2(金)　マラソン大会予備日
5(月)　キャンパスカウンセリング
6(火)　木曜日の時間割
8(木)　百人一首大会
　　（1 学年、6,7 限、体育館）
9(金)　２年生進研マーク模試
　　生徒会予算立案
10(土)　２年生進研マーク模試

初めてのマーク式、1 年後のセンター試験に向けた模試です。センターと同じ時間、配点なので、これを受験勉強のスタートと考え、今までの模試などを見直すなどの準備をしておこう。

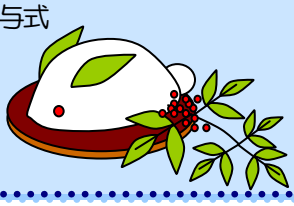
11(日)　建国記念の日
12(月)　振替休日
14(水)　特色選抜入試準備
15(木)　特色選抜入試
16(金)　生徒会予算締め切り
　　教育相談週間(～21(水))
17(土)　数学検定(9:00～、309,4F)
19(月)　キャンパスカウンセリング
20(火)　特色選抜合格発表
22(木)　学年末考査
23(金)　学年末考査
25(日)　国公立大前期日程試験

国公立大の個別試験です。合格発表は公立大 3/1～国立大 3/6～です。最後まであきらめず、全力を尽くしてもらいたい。

26(月)　学年末考査

今年度最後の定期考査です。年度の締めくくりとして納得のいく結果を残そう。

27(火)　学年末考査(1・2 限)
　　卒業式予行(3・4 限)
28(水)　卒業証書授与式



次年度に向けて
今年度を振り返ろう

目標を立てよう

学習習慣について

時間～平日は２時間、休日は３時間を目標に
内容～予習→授業→復習のサイクルを徹底

生活習慣について

毎日決まった時間に学習する

進路について

志望校を考える

チェックしよう～つまづきのもと～

学習習慣について

□定期試験の復習は誤答箇所の確認だけ
□自宅学習をほとんどしていない　□辞書を引かない
□授業中、先生の説明を書かない　□友達の宿題を写す
□模擬試験の復習はしない　□授業中、板書写しだけ
□わからなければあきらめる　□予習はほとんどしない
□教科書ガイドを写すだけ　□復習はほとんどしない
□定期試験対策は直前のみ

生活習慣について

□学習を始める時間は決まっていない
□ゲーム、スマホを２時間以上手にする
□「起床時間」「就寝時間」が毎日バラバラ

進路について

□職業、学問を調べない
□「受験勉強を始めるのはまだ先でよい」と思う

誰でも勉強に身が入らないときはあります。

そのようなときに限って、『周りに流されて』とか『部活動が大変で』と言い訳を探してしまいます。そして、『4 月になったら頑張ろう』と後回しにします。しかし、それでは４月になっても何も具体的に始められません。

自分の甘さに気付いている人や、将来の夢を諦めたくないと思う人は、今から、小さなことから、1 つ、頑張り始めよう。

お知らせ

センター試験の状況を別紙に載せました。今年度も現役生中心の試験となりました。昨年と比べた科目平均点の大幅な変化は、倫理、化学、倫理・政経、地理Ｂが上がり、リスニング、生物、政経、生物基礎が下がりました。平均点では、文系が少し低くなり、理系が少し高くなりました。900 点換算では高得点層が少し減り、中間層が増えました。

進路通信 No.10

第２部

平成 30 年２月
○ 赤穂高校 ○
進路指導部

2018 年度　大学入試センター試験平均点速報　各科目平均点

教科	科目	2018 年度 センター中間集計	2017 年度 センター発表
国語	国語	102.36	106.96
数学	数学Ⅰ･数学Ａ	63.62	61.12
	数学Ⅱ･数学Ｂ	53.96	52.07
外国語	英語　筆記	125.50	123.73
	英語　リスニング	23.05	28.11
地理･歴史	世界史Ｂ	70.18	65.44
	日本史Ｂ	63.92	59.29
	地理Ｂ	70.22	62.34
公民	倫理	67.52	54.66
	政治経済	57.66	63.01
	現代社会	60.38	57.41
	倫理･政経	73.06	66.63
理科	物理	63.19	62.88
	化学	62.06	51.94
	生物	62.38	68.97
	地学	49.87	53.77

文系5教科　900 点満点予想平均点

●英語(200 点)、国語(200 点)、数学(1+2)(200 点)、(地歴･公民)×2(200 点)、理科(100 点)

ベネッセ　554　河合塾　552　東進　550

理系5教科　900 点満点予想平均点

●英語(200 点)、国語(200 点)、数学(1+2)(200 点)、地歴 or 公民(100 点)、理科×2(200 点)

ベネッセ　564　河合塾　560　東進　560

英語は、筆記＋リスニングの合計 250 点満点を 200 点満点に圧縮。

2018 年度センター試験問題講評要約

国語

– 評論で図に関する対話の問い、古漢で対話形式の問題文が出題。難易は昨年並 –

問題文の分量は全体として昨年と同程度。昨年同様、文章全体の展開や主題を把握する力が求められた。評論で図に関する対話形式での設問が、古文・漢文で問答・対話形式の文章が出題され、全体に「言語活動の充実」を意識した出題であった。難易は昨年並。

数学I・A

– 複数の大問で論証の根拠を考察する問題が出題された。難易は昨年並 –

大問数、配点は昨年と同様。問題量は昨年よりやや減少。答えを求める根拠として記号や数学的性質を選択するような出題が複数あり、思考のプロセスを重視する傾向が見られた。難易は昨年並。

数学II・B

– 1ラジアンの定義や微分と積分の関係を問う問題が出題された。難易は昨年並 –

大問数、配点は昨年と同様。問題量、計算量は昨年並。全体を通して各分野の基本事項が出題され、第1問では1ラジアンの定義を問う問題が、第2問では微分と積分の関係が問われた。難易は昨年並。

英語

（筆記）

– 物語が日誌形式に。内容を大づかみする力が引き続き求められた。難易は昨年並 –

SF風の物語が日誌形式で出題され、グラフや広告、論説など、素材や目的に応じた読み方が引き続き求められた。主題の特定など全体の概要を問う問題が出題され、現行課程で重視される英文の内容を素早く大づかみする力が、昨年同様求められた。

（リスニング）

– 実践的な英語力に加え、音声と文字情報の同時処理が鍵。難易は昨年より難化 –

音声情報とイラストを含む文字情報（地図）を組み合わせて答える問題や、討論の場面が出題されるなど、引き続き実践的な英語力が求められた。形式は昨年踏襲ながら、選択肢に工夫がなされた問題、複数情報の整理が必要な問題も多く、昨年より難化。